

## 5 . 施肥用機械

### 1) ブロードキャスター

#### (1) 用途

粉粒状肥料、特に粒状肥料を飛ばして全面散布するのに使用する。また、牧草や麦類などの種子の散播、土壤改良剤、除草剤、融雪剤などの散布にも使用する。

#### (2) 構造

構造は、肥料ホッパー、攪拌機(アジテーター)、散布量調節装置、散布機構、動力伝達装置などよりなる。アジテーターは、ホッパー内で回転しながら肥料の固まりを砕いたり、ブリッジ現象を防ぐものである。肥料の散布機構には、スピナー(円板回転)式とスパウト(揺動筒)式とがある。

##### スピナー式(円板回転式)

数枚の羽根を取付けた円板を高速回転させ遠心力で肥料を飛ばす方式のものである。通常、円板は1個(単板)であるが2個(複板)のものもある。また、風よけカバーがアタッチメントとして利用できるものもある。

##### スパウト式(揺動筒式)

散布筒を左右に揺動させて肥料を飛ばす方式のものであり、フリッカー式ともいわれる。いずれも、搭載式が多いが、けん引式もある。また、ホッパー内の混合装置で異種の単肥(飼料や種子なども含めて)を混合しながら散布する方式の肥料配合散布機と呼ばれるものもある。

#### (3) 取扱い上の留意点

粒状肥料では散布幅が広くなりやすく、また、逆に粉状肥料では散布幅が狭くなりやすい傾向がある。散布法は重複散布を行う場合、むらを減らすため適正な散布幅を見極める必要がある。なお、散布能率は高いが、強風時には飛散して作業しにくい。

#### (4) 安全作業のポイント

トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

P T O軸や可動部のカバーは常に所定の位

置に付けておく。

点検・調整・修理あるいは詰まり除去は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

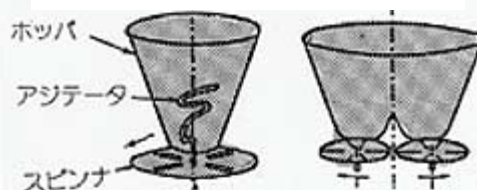
始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

移動時には他車との追突や接触に注意する(予防対策として反射材などを活用する)。

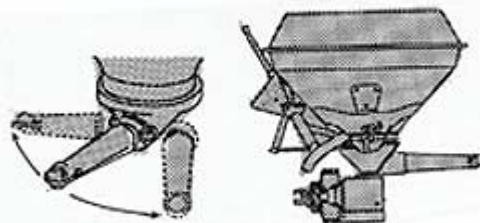
補助者を含めてP T O軸や回転円板への巻込まれなどに注意する。



スピナー式ブロードキャスター



単板・複板スピナー



スパウト式ブロードキャスター